

## シンポジウムⅠ

### 「地方における圏域行政・連携中枢都市圏」

日 時 2019年6月1日 13:20-16:30

会 場 朱鷺メッセ4階 マリンホール

基調講演 中原 八一（新潟市長）  
「新潟開港150周年の都市デザインと新潟広域都市圏の取組について」

パネリスト 中原 八一（新潟市長）  
小林 豊彦（弥彦村長）  
北崎 秀一（総務省自治行政局長）  
溝口 洋（新潟県副知事）  
杉野 昌平（福山市副市長）  
諸富 徹（京都大学大学院）

コーディネーター 横山 彰（中央大学名誉教授）

地方圏では、2020年代以降、高齢者数がピークを迎え、さらに急速な生産年齢人口の減少時代に突入する。そのため、周辺部の自治体では、単独での公共サービスの提供が困難になる可能性もある。人口減少下で自治体が行政サービス水準を維持するためには、平均費用抑制のための「規模の経済」の追求が不可欠であり、そのためには、1)「コンパクト型」の地域・まちづくりの実現、2) 自前ですべての公共施設やサービスを提供する「フルセット型」から複数の自治体間で融通しあう「ネットワーク型」への転換の必要性が指摘されている。

本シンポジウムでは、地方圏の自治体が直面する喫緊の課題に対して、どのような圏域行政の制度設計が必要であり、国、県、連携中枢都市及び関連市町村の取り組みが必要であるかについて議論する。